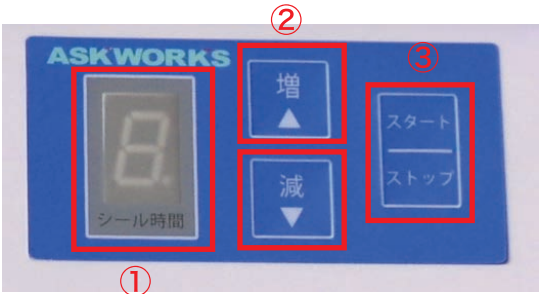


1. 各部名称



NO.	名 称	役 割
①	操作パネル	2. 操作パネルの説明を参照ください
②	水物タンク	袋内の水分を溜める事ができます
③	シールバー	押すとシールします
④	上カバー	両端を押すとロックします
⑤	シール部	この部分で袋を熱融着します
⑥	押さえスポンジ	このスポンジが劣化すると真空しくなります
⑦	ノズルレバー	手前に押すとノズルが出てきます
⑧	ノズル	ここから袋内の空気を抜きます
⑨	ロック解除ボタン(両端)	押すとロックが解除されカバーが開きます

2. 操作パネルの説明



NO.	名 称
①	シールタイマー
②	シール時間調整ボタン
③	スタート&ストップボタン

ご注意ください

- ・最大で幅 28cm までの袋が使えますが、幅 20cm 程度までの小さめの袋の方がより真空になります。
- ・電源スイッチはありません。
使用しない時は、必ず電源コードを抜いてください。
- ・継続して 30 分以上の使用はお避け下さい。
30 分使用したら 1 時間は機械を休ませてください。

株式会社アスクワークス 〒130-0004 東京都墨田区本所 4-2-2
TEL:03-5610-3666 MAIL: info@askworks.com
HP: http://askworks.com/

実際に使ってみよう！

①



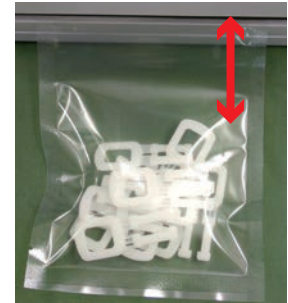
- ・電源コードを差します。
- ・上カバーを上げます。
(上がらない場合は横にあるロック解除ボタンを押してください)
- ・レバーを手前に引いて、ノズルを引き出します。
- ・シール時間を5にセットします。
(うまくいかない場合は袋に合わせて調節してください)

②



- ・袋をノズルに差し込みます。
この時、ノズルと内容物の距離を
2～3cm 以下にしてください。

失敗例
ノズルと内容物が離れすぎ



③



- ・上カバーを下げ、両端に体重をかけるようにして強く押すとロックします。
- ・スタート / ストップボタンを押すと真空ポンプが回り始めます。
(右写真を参考にしてください)



④



- ・写真のようにノズル前に空気の通り道を作ってください。
(両手で袋をこすり合わせるようにします)
内容物近辺に残っていた空気も抜けます。
- ・②の失敗例のように内容物とノズルまでの距離が離れている場合どうしても空気が抜けませんのでご注意ください。

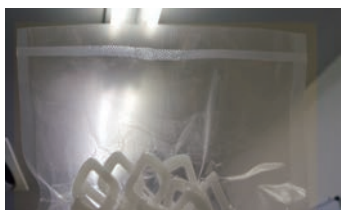
⑤



- ・空気が抜けたら、袋の両端を持ってしわを伸ばしてください。
- ・手のマークのある真ん中の長いレバーを、必ず両手で押し続けてください。
- ・シール終了の音 (ピッピ音) が鳴り終わったら両脇にあるロック解除のボタンを押して、袋を取り出します。



⑥



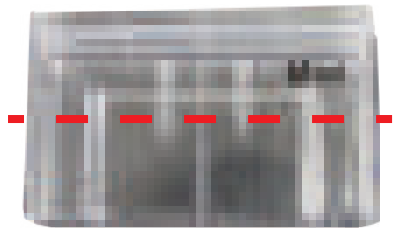
- ・しっかりとシールされていれば完成です。
- ・シールした場所がシワになっていると、そこから空気が入ります。
その場合は次ページの”シールのみする場合”をご覧ください
シールの2度付け、3度付けを行ってください。

シールのみする場合



- ・ 上カバーを開け袋をセットする際に、ノズルを出さない状態で袋をセットします。
- ・ 上カバーの両端を押してロックします。
- ・ 手のマークのある真ん中の長いレバーを、必ず両手で押し続けてください。
- ・ シール終了音 (ピッピ音) が鳴り終わったら、両手を離し両端のロックを解除します。

水を含んだものをパックする場合の注意点



- ・ タンク内の水分はタンクの半分を目安に捨ててください。
Max を超えますと機械内部に逆流してしまい、機械が壊れる恐れがあります。



- ・ 水ものを真空パックする際もやり方は前頁と同じです。
手順④のあと、気泡を手でノズルの方に押し上げる形で手助けすると、キレイに仕上がります。
袋に水滴がついてしまう場合があるので、シール時間を長めに設定してください。

One Point ~~X~~



段差なし。(やりづらい)



段差あり。(やりやすい)

水を含んだものを真空パックする際には、電話帳などを本体下に置き段差をつけるととても真空しやすいです。

保管する際の注意点

上カバーをロックした状態で保管すると、押さえスポンジが劣化し真空になりません。

☆ 良い例

× 悪い例



ロックがかかっていない

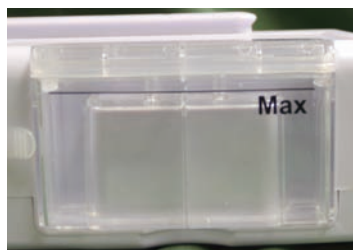
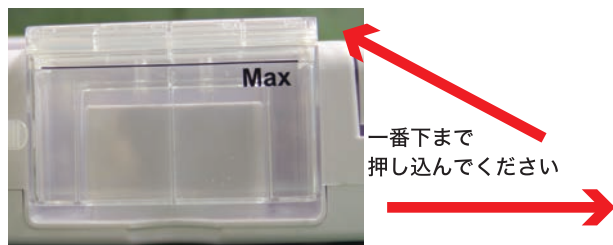


ロックがかかってしまっている

トラブルと対処法

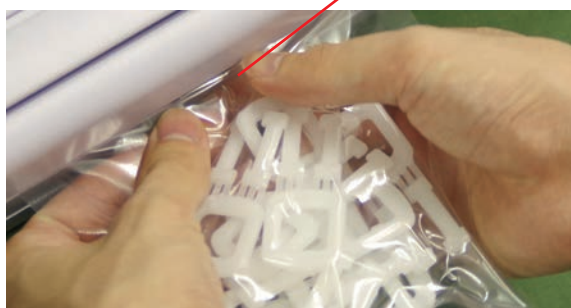
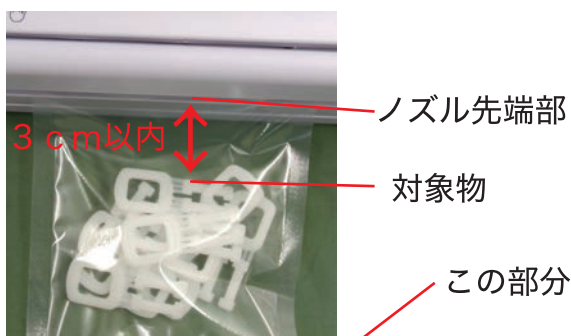
Q. 真空にならない。

A. 背面の水物タンクをチェックしてみてください。
下までしっかり入っていないと、空気を吸いません。



Q. 空気をあまり吸わない。

A. ノズルと内容物までの距離を見てください。
あまり距離があると袋が張り付いてしまい空気の通り道を邪魔します。



Q. 真空は上手く行ったのに、しばらくするとジワジワと空気が入る。

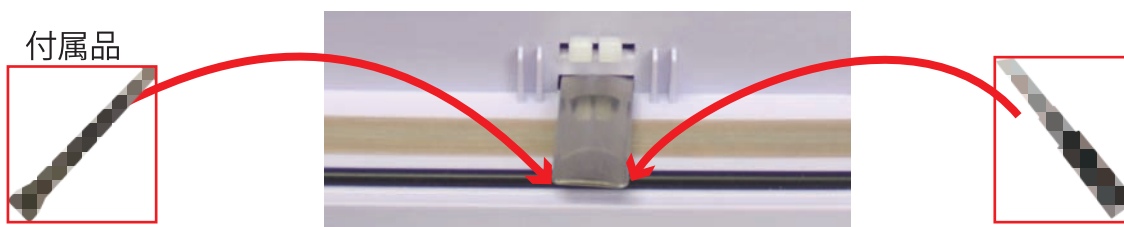
A. シール部に縦シワが入っていると、そこから空気が入ってしまいます。
その場合はシール部をハサミ等で切りもう一度真空し直すか、
シール時間を長くしてシールの2度付けをしてください。



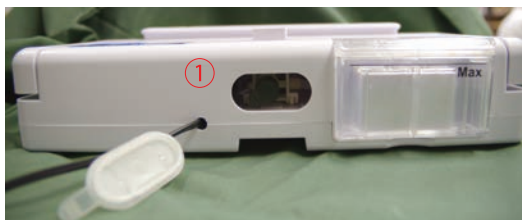
↑のようにシワが入ってしまったら、やり直しましょう。

Q. 明らかに吸気が弱くなってきた。

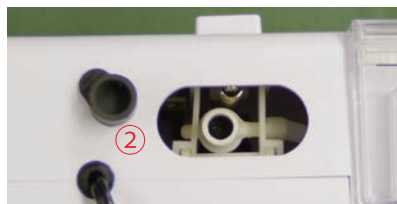
A-1. ノズル部に汚れがたまっている恐れがあります。
付属のヘラか、カッターナイフの先でノズル内の汚れを掻き出してください。



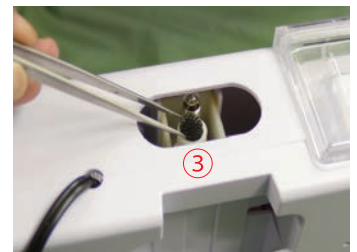
A-2. 以下の手順でスポンジを洗うと、より効果的です。



①背面にある白いカバーを外す



②黒いキャップを外す

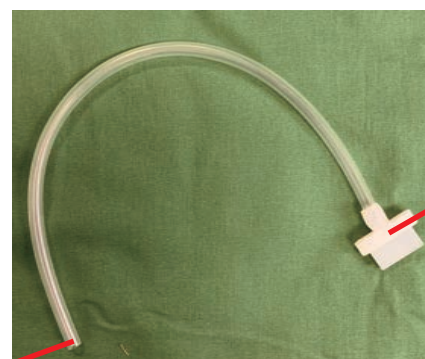


③中のスポンジを洗う

※注意※ 洗浄後黒いキャップをしっかりとめないと、全く吸気なくなります。

追加説明（重要）

たれもの、ドロツとしたもの、液体物をやった後は、付属のノズル延長ホースをノズルにつなぎ、ぬるま湯を吸わせて、内部のチューブにたまったたれなどを押し流してください。そのままにしておく
内部で固まってしまう。

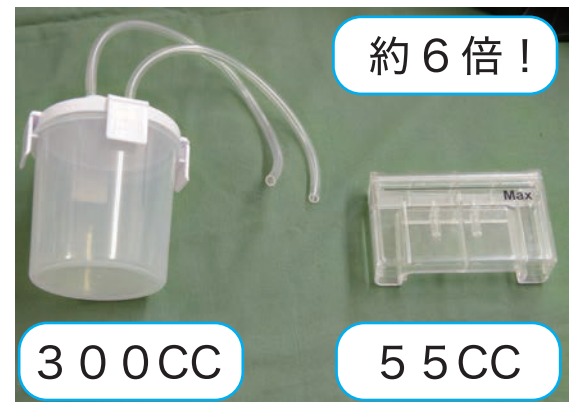


ノズルに差し込む。

容器にぬるま湯を入れて、吸わせる。

【別売品】 PZ290 の大容量タンクの取り付け方 & 注意点

液体をたくさん含むものをやる場合、大容量タンクが便利です。
(液体を含むものをやらない場合は付ける必要がありません。)



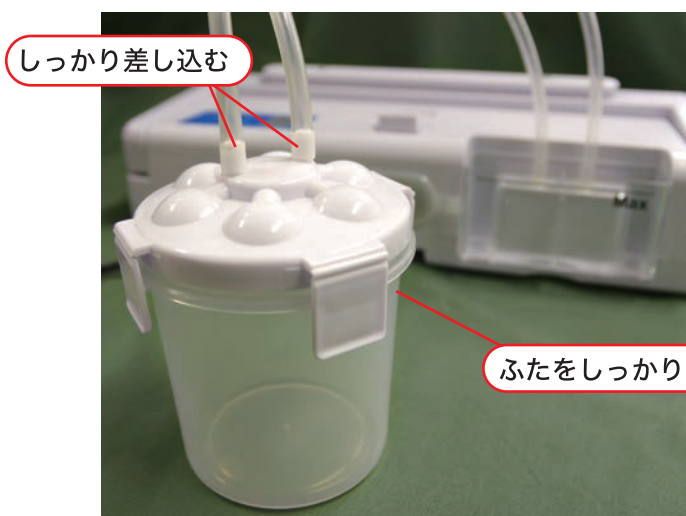
【大容量タンクの取り付け方】

1. まず、もともと付いている小タンクを外し、さらにそのふたを開けます。



2. ふたが開いたまま小タンクを本体にセットし、2つの突起に、チューブを奥深く差し込みます。

(この時、少しでもゆらみがあると、うまく脱気できません。何度も使ってチューブが緩くなってしまったら、多少短くなりますが、先端を切ってください。)



3. 大容量タンク側の2本のチューブもしっかり差し込んでください。また、小タンクのふたは空いたままでよいですが、大容量タンクのふたはしっかり締めないと、全く脱気しません。

注意点

小タンクも、大容量タンクも満タンになる前に、水を捨ててください。満タンになると、チューブから本体内部に水が入り、一発で機械が壊れる可能性があります。

(この場合は、保証期間中であっても有償修理とさせていただきます。)